

～職員定着のカギは人間関係～ 職場の人間関係は良好ですか？

令和4年度実施「就業意向調査アンケート」より（※）

現在の職場で継続して働き続けたい理由（n=1,484）

- 1位 「通勤が便利」 803件（54.1%）
- 2位 「人間関係が良好」 710件（47.8%）
- 3位 「希望の時間で働ける・勤務時間に自由度がある」 468件（31.5%）

現在の職場から転職したい理由（n=1,156）

- 1位 「給与に不満がある」 303件（26.2%）
- 2位 「転職の良い機会」 265件（22.9%）
- 3位 「人間関係が良くない」 223件（19.3%）

※令和5年3月、eナースセンターに登録のある求職者のうち、東京都に就業を希望する看護職に就業意向調査アンケートを実施

「継続して働きたい」「転職したい」どちらの場合も、人間関係は、上位回答になっていることから、職場の人間関係の良し悪しが、職員の定着と密接に関係していることがわかります。

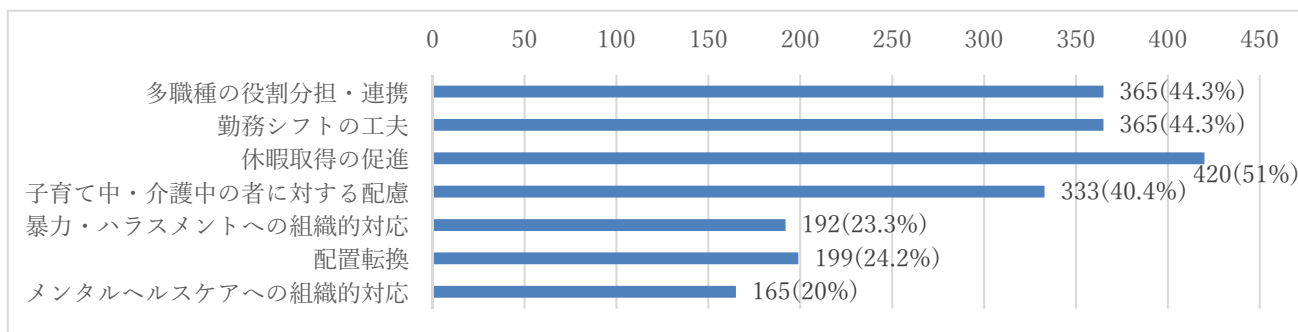
一日の多くの時間を過ごす職場の人間関係が悪ければ、仕事のパフォーマンスにも悪影響を与え、看護サービスの低下にもつながりかねません。

また、退職者がでた場合、残された職員の負担が増えるだけでなく、新しい人材を採用・教育するためのコストや時間が更なる負担となり、悪循環を招く要因になりかねません。



一方で、事業所が取り組んでいる「人材確保・定着対策」は、「休暇取得の促進 420 件 (51%)」「勤務シフトの工夫 365 件 (44.3%)」「子育て中・介護中の者に対する配慮 333 件 (40.4%)」など、「働き方」が中心となっており、「暴力・ハラスメント対応 192 件 (23.3%)」「メンタルヘルスケア 165 件 (20%)」など、「人間関係」に関連する項目の割合は、低い結果となっています。

n=824



※令和5年度実施「人材確保・定着対策に関するアンケート」より、回答を一部抜粋



皆さんの職場環境は快適ですか？

「職場の快適度チェック」のご紹介

働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト

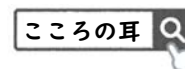
こころの耳

厚生労働省の「こころの耳」ポータルサイトでは、職場環境の改善に向けて、問題の発見や具体的な取り組みに役立つチェックツール「職場の快適度チェックシート」を公開しており、その中では、人間関係の改善検討の重要視点として、以下の4点を挙げています。

1. 管理者のマネジメントスタイル、マネジメント行動、メンバーへのかかわり方
2. 上下・左右間のコミュニケーションの総量
3. 他メンバーの仕事内容、仕事状況の理解・共有による相互支援意識、協働意識の醸成
4. 対面コミュニケーションの増加

出典：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」

チェックシートは、従来の作業環境、作業方法、疲労回復支援施設等のハード面での改善ではなく、「キャリア形成・人材育成」「人間関係」「仕事の裁量性」「処遇」「社会とのつながり」「休暇・福利厚生」「労働負荷」の7つの領域と総合評価によって、職場のソフト面をチェックする内容になっています。職場環境におけるソフト面の現状を的確に把握し、その上で問題点を発見し、具体的な職場全体の取り組みに役立てることのできるツールとなっておりますので、ぜひご活用ください。



設置主体：東京都

運営受託者：公益社団法人 東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION

東京都ナースプラザ <https://www.np-tokyo.jp/>

東京都新宿区西新宿4-2-19

TEL 03-5309-2063(代表 庶務係)